

安房小学校(屋久島町)

豊かな自然を守りたい

屋久島型ESD

1993年に屋久島が世界自然遺産に登録されたから30年が過ぎました。毎日、目の前の雄大な山々を眺めながら学校生活を送っている私たちに、屋久島の山は、自然探索を促しています。山の中にも身近な存在です。そんな大切な島が持続可能な社会にするために、私たちは屋久島型ESD(持続可能な開発のための教育)を通して、豊かな自然と伝統文化を素材にした学習を行っています。その一つが、総合的な学習の時間に「森で学ぶ」です。「森で学ぶ」では、実際にヤクスギランドに行き、自然探索をしました。山の中に入ると、杉のよい香りがし、学校にいるときよりも涼しく、心ななとくも癒やされました。屋久島が、世界自然遺産に登録され、観光客が増えたことによる環境整備をはじめ、地球環境の変化も関係しているのだと思います。



総合的な学習の「森に学ぶ」では、ヤクスギランドで豊かな自然に出会いました。学校の玄関ホールに置かれた樹齢1300年をしのぎの大きな屋久杉



1300年をしのぎの大きな屋久杉が飾られています。安房の空と海は世界に誇ります。喜ぶ溢れるとき、疲れ果てたとき、迷ったとき、この屋久杉の前に立ちたい。きつと勇気と希望を与えてくれます。君たちがこの学び舎をおえてから、この大きな屋久杉が、千年以上も前から私たちのことを見守ってくれているのだと思います。



教育に新聞を

この企画は、南日本新聞社の広告主でつくる南日本広友会の社会事業です。子どもたちが発見し、取材・撮影した「地域の宝」を紹介します。

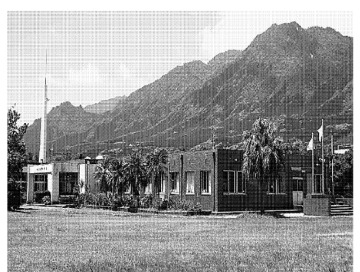
制作：南日本新聞社営業局

わたしたちふるさと発見隊

まなびや

私たちの住む安房地区は、屋久島の東南東に位置し、漁港として古くから開けた土地です。また、屋久島の聖人「泊如竹」の出身地でもあります。古くから林業も盛んです。

聖人の教えを忘れずに



このスローガンは1997(平成9年)当時の先生方と保護者が話し合い、素直で優しい子どもを一緒に育てようという願いを込めて作られました。現在も、毎朝放送で全校児

の校訓に加え「人にやさしく」「物にやさしく」「命にやさしく」をスローガンに、全校児童199人で充実した学校生活を送っています。



わたしたちが取材しました

6年い組38人▽指導 川畑悠太教諭

今回の取り組みを通して、屋久島の自然の素晴らしさについて、多く



のことを学びました。また、これから取り組まなければならない課題についても気付くことができました。私たちの学校では、屋久島型ESDで「屋久島と水」「屋久島をいただきます」「里めぐり」「調べよう！昔のこと」など、豊かな自然と屋久島の人々が築いてきた歴史や伝統文化について学びます。さらに、6年生は「屋久島を語ろう」という活動を行います。自分たちがこれまで調べたり、経験したりしたことを友達や地域の人、観光客など世界中の人たちに発信する活動です。屋久島は、世界中に自慢できる素晴らしい島です。屋久島の素晴らしさをたくさんの人に知ってほしいです。

Advertisement section containing various local business listings and advertisements, including Subaru, Fidele, FamilyMart, Kirin, and others.